

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	次世代育成支援対策施設整備事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課	
総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市次世代育成支援対策施設整備補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="18"/> 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期
(小項目)		児童福祉			
施策	2	児童福祉の推進			
基本事業	2	保育所の機能充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 私立保育所						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	私立保育所・園の老朽化に伴う施設整備を支援することにより、乳幼児にとって、よりよい保育環境を提供することを目的とする。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		私立保育園・所についての耐震化済保育所率	81	88	100	-	-	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	板東ゆたか保育園が実施した改築(老朽民間社会福祉施設整備)に対して補助金を交付し、施設の環境改善を支援した。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震対策をする私立保育所・園の数	3	1	2	-	-	園
	2	耐震対策をする私立保育所・園の定員数	140	60	80	-	-	人
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	私立保育園・所についての耐震化済保育所率		81.25	87.50	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		142,018	99,247	124,343	-	-	千円
	財源内訳	国	0	0	0			
		県	87,200	62,831	78,062			
		地方債	43,800	0	37,000			
		その他	0	0	0			
		一般財源	11,018	36,416	9,281			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		2,688	2,016	2,016			人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.4	0.3	0.3				
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		144,706	101,263	126,359	-	-	千円	

【事務事業名：次世代育成支援対策施設整備事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	桑島保育所と矢倉乳児保育園がそれぞれ改築工事(老朽民間社会福祉施設整備)と耐震改修工事を、木津さくらんぼ保育園が大規模修繕を計画しており、当該事業に対して国・県・市から補助金を交付するため、事前協議書を作成し、県に提出している。25年度の事業によって、私立保育所の耐震化は100%完了する予定となっている。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	保育の場である保育所の施設整備を進めることは、重要な施策である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 児童福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	目標の達成に向けて、有効な事業である。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	補助制度を活用することによって、効果的に実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				